

ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議する決議

2月24日、ロシアが北大西洋条約機構（NATO）への加入を望むウクライナに軍事侵攻したことに伴い、民間人を含む死傷者が発生し、多くの人々が避難を余儀なくされている状況が伝えられ、国際社会から抗議の声が多数上がっています。

これまでも、我が国や欧米各国がロシアと首脳会談を行うなど、平和的な解決に向けた努力が続けられてきたにもかかわらず、ロシアが軍事侵攻に踏み切ったことは、力による一方的な現状変更を認めないという国際秩序の根幹を揺るがすものであり、断じて許されるものではありません。

また、ロシアは核保有国であることを強調し、その使用を示唆していることも看過できません。下諏訪町は、「非核平和都市」を宣言している自治体であり、このような暴挙を許すことはできません。よって、本町議会は、ロシアに対し、ウクライナ侵攻に強く抗議するとともに、直ちに侵攻を中止し、事態の打開に努めるよう強く求めるものです。

以上、決議します。

令和4年3月8日

下 諏 訪 町 議 会